

令和 3 年 3 月 22 日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学事務局 企画広報課

課長 田中 雅隆 電話 : 052-853-8305

(名古屋経済記者クラブに同時発表)

「名市大未来プラン 2021」の策定について

名古屋市立大学では、「大学憲章」の精神に則り、2014年に策定した「名市大未来プラン」を継承しつつ、本学が今後進むべき方向性を長期的な視点で示す道しるべとして、新たに「名市大未来プラン 2021」を策定しました。策定にあたっては、全学から教員、メディカルスタッフ、事務職員、さらには4月より附属病院となります東部・西部医療センターの職員など、およそ100名が参加して議論を重ねました。こうしたプロセスを経て作成された大学の長期プランは、全国的にも珍しいものです。

なお、策定した「名市大未来プラン 2021」は、令和2年度の卒業生全員に配布するとともに、令和3年度入学式において新入生全員に配布する予定です。

「名市大未来プラン 2021」の詳細は、本学のHPで公開しております。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/about/profile/ncuplan/index.html>

是非ご取材いただき、お取り上げいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

【名市大未来プラン 2021 のポイント】

■4つのビジョン

- ①誇りを持ち、愛される名市大
- ②名古屋市と共に発展する名市大
- ③戦略性を持って世界に飛躍する名市大
- ④経営基盤が安定した名市大

■3つの視点

Society 5.0、Social Innovation、SDGs

■48のプラン

以下8領域に分けて策定

1. 教育
2. 研究・産学官イノベーション
3. 社会貢献
4. 国際化
5. 医療
6. 経営基盤
7. 組織マネジメント
8. MIRAI への展開



■ 名市大未来プラン 2021 一部抜粋

《 策定の背景と概要 》

新しい「名市大未来プラン」策定の背景

1. 大学の現状
 本学は、1950年に名古屋女子医科大学と名古屋薬科大学の統合によって発足しました。2006年の公立大学法人化以降も研究・教育・社会貢献などの各種活動に邁進し、先進的研究の世界への発信、優れた人材の育成、市民の健康福祉などに寄与してきました。2018年には新設学部として総合生命理学部を設置され、7学部7研究科を擁する総合大学へと発展し、2020年には開学70周年を迎えました。
 大学病院においては、この地域の中核的な医療機関として高度かつ安全で開かれた医療の提供や、質の高い医療人の育成に努めてきました。2021年度には名古屋市立東部・西部医療センターの附属病院化が予定されるなど、大学として大きな転機を迎えます。

2. 社会情勢の変化
 少子高齢化やグローバル化の一層の進展、ビッグデータやIoT、人工知能(AI)など高度情報技術とその活用を核としたSociety 5.0の動き、地球規模での貧困や増加する自然災害・環境問題の増加、そして新型コロナウイルス感染症拡大への対応を契機とした新しい生活様式への転換など、社会は大きく変化しようとしています。また、2015年に国連では、2030年までの国際目標であるSDGsが採択されました。本学の設置団体である名古屋市は、内閣府より「SDGs未来都市」に選定されており、その達成に向けた積極的な取り組みが進められています。

3. 新しい「名市大未来プラン」策定へ
 時代の変化に的確に対応し、本学の強みを活かしながら、15年後の明るい未来を築いていくため、2014年10月に「名市大未来プラン」を策定しました。策定から6年が経ち、当初掲げていた52項目のプランはほぼ実現することができました。
 この「名市大未来プラン」を継承しつつ、本学の現状や社会情勢の変化を踏まえて、今後進むべき方向性を長期的かつ戦略的な視点で示すとして、新たなプラン「名市大未来プラン2021」を策定しました。この名市大未来プラン2021の内容をもとに第四期中期計画を策定するとともに、その内容を名古屋市中長期総合計画に反映させることで、本学の明るい未来の実現を目指していきます。

4つのビジョン、3つの視点、48のプラン

1. 大学憲章と名市大未来プラン2021の関係
 名市大未来プラン2021は、本学の基本理念にふさわしい長期的・普遍的な内容とこれに踏まえた本学関係者の行動指針を示す「大学憲章」の精神に即して策定しました。

2. 4つのビジョン
 2014年に策定した名市大未来プランでは、以下の4つのビジョンを掲げ、大学・附属病院の運営に取り組みできました。

- ① 誇りをもち、愛される名市大：教育・研究・診療の現場づくり
- ② 名古屋と共に発展する名市大：名市大の明るい未来づくり
- ③ 戦略性を持って世界に飛躍する名市大：和、実行力、戦略性、透明性のある大学づくり
- ④ 経営基盤が安定した名市大：経営改善に向けた体制づくり

3. 3つの視点 -3S-
 名市大未来プラン2021では、上記の4つのビジョンを踏まえた上で、新たに3つの視点(3S：Society 5.0, Social Innovation, SDGs)を設定しました。これらは、本学の今後の全ての活動において、共通して意識すべき重要な視点です。

- Society 5.0：人工知能やデータベースを利用して人とモノがつながる社会
- Social Innovation：既存の解決法より効果的・効率的かつ持続可能な、社会問題に対する革新的な解決法
- SDGs：Sustainable Development Goals. 持続可能な開発目標

4. 48のプラン
 名市大未来プラン2021では、以下8領域において、本学が今後実現を目指す48のプランを策定しました。

【8領域と、各領域のキーワード】

- ◆ 教育：学修者本位の教育の実現
- ◆ 研究・産学官イノベーション：先進的な研究による産学官イノベーションの創出
- ◆ 社会貢献：名古屋に育たれ、名古屋をつくる大学
- ◆ 国際化：地域に根ざしたグローバルな活動の展開
- ◆ 医療：卓越した高度先進医療の提供と地域包括ケアの推進
- ◆ 経営基盤：将来の発展を見据えた持続可能な経営基盤の確立
- ◆ 組織マネジメント：社会の変化と多様化に柔軟に対応できる組織づくり
- ◆ MIRAIへの展開：時代の一步先をデザインし、進化し続ける大学

《 48 のプラン一覧 》

1. 教育

- (1) Society5.0を核として活躍する未来志向の人材育成
- (2) 多様な学修者に対応できる柔軟な教育プログラムの構築
- (3) 学生本位の学修に対応した教育機会・学修支援の充実
- (4) 広い視野を持ち高い教育ができる教員による教育力の向上
- (5) 自主的・自発的な学修をサポートする施設・設備の整備
- (6) ICTを活用した学修環境の充実
- (7) 名古屋市教育委員会との連携および高大連携の強化

2. 研究・産学官イノベーション

- (1) 異分野融合型の革新的研究の推進
- (2) 市民の健康と福祉に革新をもたらす先進的な研究の推進
- (3) 社会課題・社会ニーズをベースとしたイノベーションの実現
- (4) 産学官連携体制の強化による共同研究の推進
- (5) スタートアップ企業支援によるイノベーションの創出
- (6) 優秀な若手研究者や大学院生が集まる魅力的な研究環境の構築
- (7) 研究拠点の設置と研究設備の拡充
- (8) 持続的な研究費の獲得
- (9) 研究成果の戦略的・効果的な発信
- (10) 名古屋市と連携した産学官連携の名市大モデルの構築

3. 社会貢献

- (1) SDGs17の目標達成に向けた取り組みの推進
- (2) 持続可能な地域づくりへの貢献
- (3) 学修者が自身を改革するための継続的な学びの場地の創出
- (4) 名古屋市が抱える課題の解決への貢献

4. 国際化

- (1) 教育・研究の国際化のための仕組みづくり
- (2) 国際交流センターの機能・体制強化
- (3) 海外拠点校を中心とした交流および協働の推進
- (4) 名古屋市の多文化共生を支える学際的な実践研究の促進

5. 医療

- (1) 約1,800床の病床を活かした医療体制の強化と高度先進医療の提供
- (2) 超高齢社会における医療体制の提供と地域医療への貢献
- (3) 高度先進医療提供のための病院機能の強化
- (4) 救急・災害医療機能の強化
- (5) 優れた医療人の育成と質の高い医療を提供する組織の構築
- (6) ビッグデータ・高度情報技術・IoT技術の利用活用
- (7) 臨床研究・治験ネットワークの構築
- (8) 安定経営のための経営改革・組織改革の推進

6. 経営基盤

- (1) 法人運営の基盤となる財産の確保
- (2) 多様な運営の確保に向けた取り組み
- (3) 附属病院群の堅実経営による法人運営の安定化
- (4) 資源の適切な配分やAI-ICTの活用等による法人運営の効率化
- (5) 長寿化への視点に立った施設整備・有効活用

7. 組織マネジメント

- (1) 常に社会変化に対応できる柔軟な組織への進化
- (2) 戦略的な人材確保、育成および配置
- (3) 教職員一人ひとりが活躍するためのダイバーシティの推進
- (4) 組織マネジメントにおけるAI-ICTの活用

8. MIRAIへの展開

- (1) 世界TOP100を目指す戦略的な投資
- (2) 本学が持続的に発展するための柔軟な対応
- (3) AI-ICTの積極的利用による複数キャンパスの最適活用
- (4) プラットフォームの強化による国内外におけるプレゼンスの向上
- (5) 同窓会と名市大ポーターの協働
- (6) 名古屋市や関係者等との連携の進化

名市大未来プラン2021では、SDGsの理念を踏まえながら、プランの実現を目指します。